

## 8 景観・環境の保全と創造

### 1 美しく風格のあるまちなみ景観の保全・創造

#### 目指す姿

奈良ならではの“美しい自然・景観”や“快適な生活環境”を守り・創り・育む「きれいに暮らす奈良県スタイル」を構築・定着させ、「住んでよし」「訪れてよし」の地域づくりを目指します。

主担当部局(長)名  
景観・環境局長 榎田 斉志

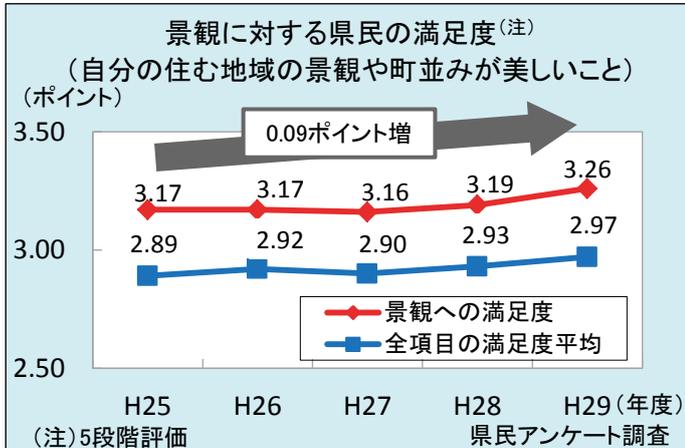


植栽整備による景観づくり(郡山城跡周辺)

#### 主な成果

- ・「なら四季彩りの庭」のホームページを開設し、植栽計画の整備内容や目指す姿、成果を「見える化」しました。(平成30年度 ホームページを県民や市町村、地元団体等への情報発信・働きかけに活用し、協働の取組を促進)
- ・中和幹線沿道の5市町と、屋外広告景観向上に向けた協定である「中和幹線沿道の屋外広告景観向上に関する協定」を締結しました。(平成30年度 協定に基づき、市町で規制条例規則が施行された後に、市町と連携して不適格広告物の是正・誘導に取り組む予定)
- ・県民への生物多様性の周知活動を行ったことにより、平成29年度の県民の「生物多様性」の認知度は、前年度と比べて2.6ポイント上昇し、50%になりました。

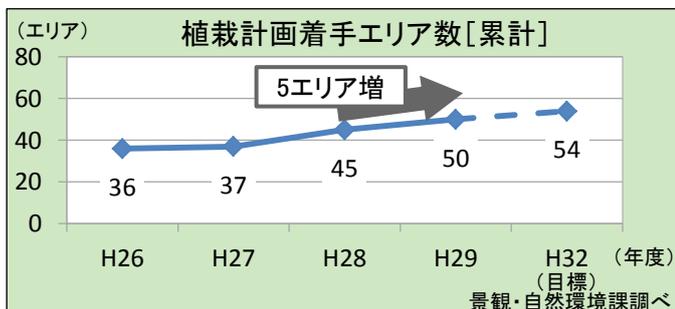
#### 1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	美しく風格のあるまちなみや多様で豊かな自然を守り・創り・育てます。
成果	建築物や屋外広告物等の規制誘導による景観の保全、奈良県植栽計画に基づく「なら四季彩の庭」づくりの推進等、良好な景観を守り、創り、育て、活用するための各種取組を行った結果、県民アンケート調査における景観に対する県民の満足度(自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと)は3.26ポイントで、全項目の満足度平均と比べて0.29ポイント高くなっています。

#### 2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①平成32年度までに、奈良県植栽計画に位置付けた54エリアすべての整備に着手します。(H28年度着済みエリア:45エリア) ②平成32年度までに、県民の「生物多様性」の認知度を80%にします。(H27年度:38%)
------	--



目標	平成32年度までに、奈良県植栽計画に位置付けた54エリアすべての整備に着手します。(H28年度着済みエリア:45エリア)
成果	各エリア別の県事業の着実な推進及び市町村事業の支援を行ったことにより、50エリアで植栽整備に着手しました。